

SNKは行事が山盛り 副理事長 中丸哲子

紅葉のシーズンはSNKの行事が目白押し。元気なシニアたちは大いに楽しみました。

- ①11月1日 芋煮会：津福サロン、②11月16日（日）久留米町探検：高良山編
 - ③11月22日（土）収穫祭 *場所 府中公民館前広場：SNK・久留米大学・地元の皆さん・他 88名参加
 - ④11月30日（日）SNK春の交流会 会場；ホテルニュープラザ ⑤12月29日餅つき：津福サロン
- *お知らせ 12月29日～正月4日までSNKはお休みします。

久留米町探検：高良山編 隊長 高木保幸

SNK 本部の近くに歴史的に重要な場所があった事は、大変な驚きであり、名誉なことでもあります。今回の探検はまず高良山中腹を巡る散策のコース。

(HPにアップしていますのでご覧ください)
探検如何でしたか？紅葉は今少しでしたが幸い天気にも恵まれて、一人の落伍者もなく無事に終了しました。語ろう会のメンバーの拙い話にも最後までお付き合い頂きましたけど次回も今までに劣らない計画を立てたいと思っています。大勢のご参加有難うございました。
“お弁当も美味しかった。車で神社まで行くのだが今日は参道を登る道、いつのことだったか記憶にないほど、ほんとうに良かった”とは参加者の声でした。



③

秋の収穫祭

リーダー 島井新一郎

参加者 計 88名 (SNK 会員、デイサービス2箇所のお年寄り、託児所のちびっ子、久留米大学や高専の学生と留学生、地元御井町の皆さん)
好天に恵まれ、朝9時から府中公民館広場にテントを張り、厨房では調理開始、準備を整え11時過ぎ開始・・13時過ぎまで会食・交流の収穫祭でした。
料理内容は下記(農縁倶楽部収穫野菜が主の料理)

- ・サトイモ豚汁(団子入り)
- ・サツマイモスティック、焼き芋
- ・野菜サラダ、ポテトサラダ
- ・餅米おこわ、漬物、その他



④

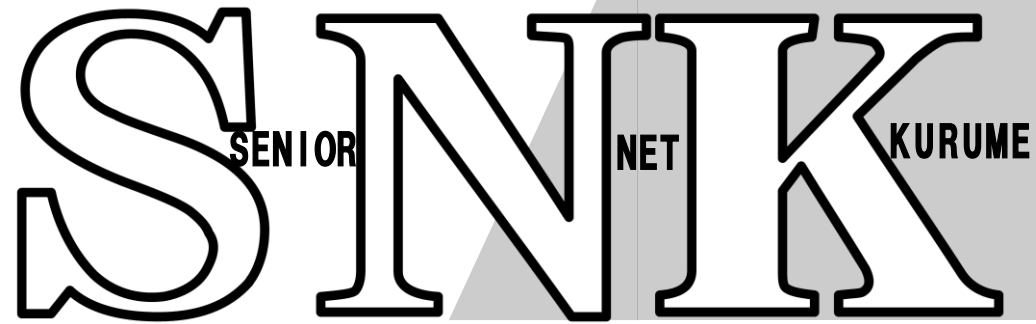
秋の交流会

リーダー 平岡清志

SNK 秋の交流会へ多くの会員の方々に参加いただきました。2時間半の交流会は、いつもの通り盛り上がり、あっという間でした。時間をともに過ごさせていただき本当に有難うございました。

今回は、来年の春となります。春の交流会も、又たくさんの方々の参加を心よりお待ち申し上げます。秋の交流会は今回を持って終わります(以降は春季開催のみ)。なお、写真班による交流会の楽しい様子がHPにアップされています。是非とも覗いてみてください。写真班の皆様、HP アップありがとうございます。

(あとがき)昔から12月は師を走らせる月と呼んだが、最近の世相は年中人が走っているように見える。IT技術の進歩による通信手段の変化もその一因と思われ、グローバリゼーションは田舎の生活にまで入りこんできた。社会はこの変化に格差を助長していく。穏やかな年を望むのだが、シニアなれば否応なく関心を持たざるを得ない。世界はかつてないほど狭く小さくなった。(武)



編集・発行
NPO シニアネット久留米
理事長 小島紀夫
久留米市御井町 387
TEL 0942-65-4545

新年の御挨拶

理事長 小島紀夫

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

皆様におかれましてはお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は火山・土砂災害等の自然災害が多発し、各地で大きな災害が発生しました。特に広島地区の地すべりの土砂災害と御嶽山の火山爆発で多くの尊い人命が失われました。

SNKは本部を昨年10月1日、約8年間ムーンスター様に大変お世話になった荘島から御井町の府中公民館へ移転しました。今後もパソコン教室、サークル活動やボランティア活動等は継続しますが、これまで以上に近隣の久留米大学の学生や留学生と地域の皆さんとの交流を推進していきたいと思っております。

嬉しいニュースとして、昨秋には久留米大学所有の荒木農園から発足した「SNK農縁倶楽部」が平成26年度の久留米市食育推進団体表彰を受賞しました。

「遊休地を開墾しシニア世代と学生らが共に農作業を行って、春秋の収穫祭は食と農を媒介にした多世代交流・国際交流の場となり、学生や留学生が、大学祭で自分たちが収穫した野菜を使った料理でバザーに参加したり、地域住民対象の料理教室を開催するなどの波及効果を生み出している」等が受賞の理由です。

今年の干支は32番目の「乙羊」で昨年の「甲午」で殻を破って出てきた新芽が、まだ余寒で屈曲するので生き生きとより好ましい先へと伸びていくように努力をすべき年と言われています。

SNKも移転を機に新たなステージで「シニアの生き甲斐づくり・仲間づくり」をモットーにより良いSNKを目指して皆様と努力をしていきたいと思っております。

本年も倍旧のお引き立てとご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆様のご健勝とご多幸をお祈り致しまして新年のご挨拶とさせていただきます。



「ふるさとくるめ農業まつり」で表彰を受け緊張気味の農縁倶楽部代表を務める島井さん

シニアの鑑 島井新一郎さまへ

理事長 小島紀夫です

嬉しいお知らせです。我らのSNK農園倶楽部(代表島井理事)が久留米市食育推進会議(議長 檜原市長)から団体表彰を受けました。ご承知のように農園倶楽部は平成20年に久留米大学の研修所遊休地200坪を借り約10名で始めて現在は約20名、1000坪を栽培継続しています。留学生に農業の体験、市民や幼稚園児に芋掘り体験やカブトムシの幼虫を市内4か所の小学校に総数約800匹を寄贈し成虫に育つ過程を観察させたり、毎年春秋2回の収穫祭ではデイサービスの高齢者、くるんの幼児、大学生、留学生、SNK会員や一般市民等と手作り料理を食べながら多世代交流・国際交流を実施しています。これらの活動が評価されました。

特集 ネットワーク

ヒポクラテスの木

ヒポクラテスは紀元前5世紀のギリシャの医師。科学的視点に基づく医学を発展させる基礎をつくり「医学の父」と称される。金銭的報酬だけを目的に医療を施したり医学を教えたりすることを戒め、人命を尊重し、患者のための医療を施すことと義務などについて述べている。紀元前に医師の職業倫理を打ち立てた。医聖・医学の祖などと称される。

世界の銘木ヒポクラテスの木が死にそうだ 「樹木医ヤーイ」

古代ギリシアの名医ヒポクラテスは、祈禱やまじないの治療法を改め、人類史上初めて科学的医術を創始し、医師の倫理を唱導した人で、医学の父と讃えられています。

彼はエーゲ海のコス島出身で、故郷の緑陰に弟子たちを教えた鈴懸の木は医学の聖地としてギリシアの観光名所にもなっています。小生のアテネ駐在中には日本をはじめ各国の医師や医師団によく出会いました。医師免許の授与式に際し「ヒポクラテスの誓い」を立てる大学も多いそうです。ところが昨年春、妻と行ってみると、この木が枯死寸前だったのです。

そこで政府の担当部局を訪ねたところ、「大切な観光資源ですが、樹齢2,500年の老木なので寿命だと諦めていました。もし日本の技術で再生できれば有難いのですが」とのこと。そこで日本医師会の横倉会長に提案したところ、幸いにも「日本医師会創立百周年記念事業として採用する」という嬉しい知らせがありました。

お世話になった多くの方々、特に昨年暮れにアテネの大使公邸の晩餐会で何気なくお話しした本件を旧知で医師会の重鎮に伝えてくださった西林大使、往診の結果、再生可能と診断された樹木医の方々、その樹木医を紹介して下さったSNKの藤枝先生と馬場亮二さんに心から感謝します。



ヒポクラテスが医術と倫理を教えたコス島の鈴懸の木



写真左より、赤枝恒雄衆議院議員、農林技官セオドリディス博士、内務省スピリドン事務総長、樹木医宮島淳二博士、同・堀大才教授、東京医大同窓会長高山雅臣博士、アテネ日本大使館清水真央2等書記官、岡田（日本ギリシャ協会会員）：ギリシア内務省事務総長室に於いて

ヒポクラテスの木の樹木医 宮島博士と堀教授ギリシャへ

「ヒポクラテスの木」原木の再生・延命を目指し、SNK メーリングリストで「樹木医ヤーイ」の呼びかけがありましたが、当時は樹木医の知人が無く返信できませんでした。

1974年から勤務した九大園芸学講座では、ツバキは主要な研究材料の一つでした。1992年に退職しましたが、当時久留米市ではツバキ苗の生産振興や国際ツバキ会議の招聘を目指し、関係者は久留米つばきの調査・啓発に盛り上がっていました。小生もそのボランティア活動に参加しました。

SNKへの入会、先輩の馬場亮二さんとの親交を得たのもツバキが取り持つ縁です。その馬場さんの取り計らいで、岡田さんから重ねて樹木医紹介の依頼がありました。そこで、園芸学講座で学び、現在は熱帯農学研究センター准教授で花木類の研究を続けている宮島郁夫博士に事情を伝え、樹木医の推薦を依頼しました。

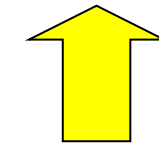
宮島博士も岡田さんの「ヒポクラテスの木」の再生活動に協賛し、兄の宮島淳二さん（熊本県林業研究指導所 育林環境部長）と相談しました。

その結果、(元)福岡県森林林業技術センター研究部長の小河誠司さんをお願いし、古木再生の権威・堀大才教授の推薦がありました。そのことを岡田さんに報告して「樹木医ヤーイ」にお答えした次第です。九州大学名誉教授 藤枝国光 (SNK 会員)

日本の厚意に感謝、技術に敬意

ギリシア内務省エーゲ海自治局事務総長
スピリドン・スピリドン

ヒポクラテスの木は全世界の医学関係者はもちろん、一般観光客にとっても注目の観光資源ですが、悲しいことに近年樹勢が衰え、枯死を待つばかりの状態になっています。ところがこのほど貴国の樹木医が遠路来訪して診察された結果、手当てを施せば再生可能という診断が出て大変嬉しく存じますとともに、日本の技術力に感嘆している次第です。日本医師会の名は世界医学史に刻まれ、この木は両国親善のシンボルになることでしょう。



人と人のつながりは新しい未来を創る
私の小さなネットワーク：馬場亮二

老木再生の為のレシピ

日本医師会の要請によりエーゲ海のコス島に出かけ、ヒポクラテスの木を往診したのはいずれも経験豊富な二人の樹木医です。往診の結果は34頁の詳細な報告書にまとめられ、結論は「再生可能」ということです。

再生方法がこの報告書に詳しく書かれ、その概略は次の通りです。

- 1・土壌を改良し、根系を活性化させる。(土壌灌水機という穴あき、パイプを随所に打ち込み根に行き渡るようにパイプを通じて空気、水分および養分を注入する。)
 - 2・乾燥期における定期的な灌水と施肥
 - 3・剪定は枯れ枝のみを小まめに。
 - 4・病虫害の防除。
 - 5・腐朽被害対策(倒伏を防ぐために支えパイプの点検、改良)。
 - 6・石垣の撤去と堆肥の豊富な優良土壌投入による根系の発達促進。
- 樹勢が衰えた原因は、樹齢に加え幹の周りに築かれた石垣が根を圧迫している上、有機質の乏しい弱酸性の土壌が固化して空気、水、養分の吸収を妨げているためと思われるので、おおむね上記の手法で早急に治療すれば再生可能ということなのです。

<p>バイオジョイ 小瓶250ml：2100円 大瓶500ml：3200円 大瓶1500円</p> <p>有機食品 バイオジョイ 久留米市東櫛原町 0942-34-7441</p>	<p>認知症対応型共同生活介護事業</p> <p>グループホーム つつじ苑</p> <p>御井つつじ苑 国分つつじ苑 介護保健事業所番号 4071600912 介護保健事業所番号 4071601258</p>
--	--

この指とまれ、あなたと話そう、あなたと遊ぼう、みんなが集まる世界をつくらう